

持続可能な水インフラを導く頭脳集団へ

極東技工コンサルタント 創業50年の足跡と未来展望



村岡 基 極東技工コンサルタント 代表取締役社長に聞く

村岡 基(むらおか もと) 平成3年3月近畿大学理工学部大学院工学研究科土木工学専攻博士前期課程修了。同年4月J S日本下水道事業団に、J Sでは多くの下水道施設を手掛けたとともに、国際協力事業団(JICA、現国際協力機構)、建設省(現国土交通省)下水道部の若手研修(現厚生労働省)下水道環境への出張経験も積み、水環境に関する見識を磨いてきた。平成12年9月同社に入社。常務取締役、専務取締役を経て平成17年10月代表取締役社長に就任。現在に至る。工学博士。技術士(総合技術管理部門)「上下水道部門」。昭和40年9月15日生まれの56歳。

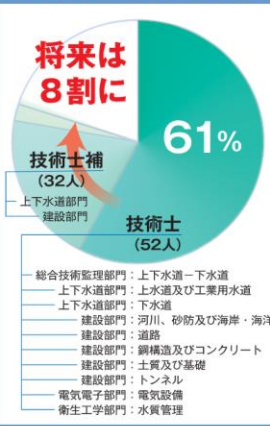
水コンサルタントの現在地と未来

「創業が50年という歴史がある水コンサルタントの現状をどう見ているか」という問いに、村岡社長は「水環境の重要性がますます高まっている。特に、SDGsの目標6「安全な水と衛生」は、持続可能な開発目標の中でも最も重要な目標の一つである。水環境の改善は、人々の健康と生活の質を向上させるだけでなく、気候変動の緩和にも貢献する。そのため、水環境の改善は、持続可能な開発のための重要な課題である」と述べ、水環境の重要性を強調した。

働く環境を改善し、健康経営に

「全設計者の技術士取得8割へ」という目標を掲げ、技術士の取得を促進している。また、働き方改革を推進し、健康経営に取り組んでいる。具体的には、働き方改革を推進し、健康経営に取り組んでいる。具体的には、働き方改革を推進し、健康経営に取り組んでいる。具体的には、働き方改革を推進し、健康経営に取り組んでいる。

極東技工コンサルタントにおける全設計技術者の技術士取得率



現場力磨き総合工学の橋渡し

「現場力磨き総合工学の橋渡し」というテーマで、現場での実践的な経験を重視している。また、現場での実践的な経験を重視している。また、現場での実践的な経験を重視している。また、現場での実践的な経験を重視している。



水&環境の総合コンサルタント

～未来の水インフラの礎に～

我々コンサルタントは、人口減少時代におけるインフラストラクチャーの在り方を考え続けなければなりません。極東技工コンサルタントは、特にSDGsの第6の目標「すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する」の実現に向けて、地方公共団体のニーズを把握し、実効的な提案を行ってまいります。

株式会社 極東技工コンサルタント
大阪本社 大阪府吹田市南金田3-3-26
東京本社 東京都台東区上野1-10-12
www.keikoku.co.jp